



Weekly Report

第 2750 地区 多摩中グループ 東京小金井ロータリークラブ

週報 NO.2626 号

8/24 発行

第 2626 回 例会 報告 平成 29 年 8 月 10 日 (木) 多摩信 4 階 12:30~13:30



<開会点鐘> 藤井会長

<ロータリーソング> 「友は我が影」

<会長の時間> 藤井会長

□昨日は大変暑い日でした。皆様、健康はいかがですか。

□九州北部豪雨の災害に関し、義援金のお願いが来ています。皆様からのご協力をお願いいたします。

<会務報告>

□東京三鷹 RC50 周年記念式典が 9 月 26 日に京王プラザホテルで行われます。8 月 24 日締切。

□10 月 7 日~9 日に RYLA のセミナーがあります。

□東京中央新 RC より、帝国ホテル 2 階にて石橋茂衆議院議員を招いての例会の案内が来ています。

□多摩中グループ親睦ゴルフ大会に、橋本さん、神谷さん、葛西さん、井上雄一さんが参加します。

□次回 8 月 17 日は休会となります。

□14 日~18 日までは事務局が休暇となります。

□到着郵便物各種あり。



<委員会報告>

□出席委員会(田中教夫会員)

・本日の出席率:74.29%(会員数37名中、免除2名、事前メイク0名、欠席9名)

・前回(8/3)の出席率:78.38%→89.19%に修正

・前々回(7/27)の出席率:89.19%→91.90%に修正

□55 周年実行委員会

本間さん

・桜植樹のご案内。

三宅島植樹。11 月

18 日、19 日に三宅

島に伺い、桜植樹

のイベントを開催し

ます。皆さんにぜひご参加いただきたいと思います。17 日夜に出港し、18 日に産業祭にて植樹を行います。19 日午後の船で夜 8 時に小金井に到着します。今週締め切りとなります。



<各種お祝い>

□入会記念日

橋本さん 22 日入会満 49 年/孤嶋さん 27 日入会満 2 年

<ニコニコボックス> 針尾委員

□橋本会員:昨日、今年一番の暑さの中 青梅 GC でプレーをし、今年一番のスコア-144×437 が出ましたので。

□関口会員:昨日、駅南口再開発第二地区の起工式に参列してきました。2020 年には 24 階と 26 階のタワーマンションが 2 棟できます。良いまちづくりができる事を祈っています。

□塩沢会員:苦節 30 年、やっと隣地の土地 50 坪を買い取ることが出来たので、ニコニコします!

東京小金井ロータリークラブ
東京都小金井市本町 2-5-4
多摩信用金庫・小金井支店 4F
TEL. 042-383-8477
FAX. 042-383-0009
E-mail: info@tkrc.jp
http://www.tkrc.jp

Rotary



会 長: 藤井泰博
幹 事: 斉藤浩
編集・発行: 東京小金井 RC 広報委員会
例 会 場: 東京都小金井市本町 2-5-4
多摩信用金庫・小金井支店 4F
例 会 日 時: 木曜日 12:30~13:30
第 5 週 夜間例会 (18:30~)

- 織田会員:8月4日、5年前に亡くなった家内の命日に豪華な花を頂きました。花が好きだった家内はさぞ天国で喜んでいると思います。ありがとうございました。
- 清水輝明会員:週末 大槌町へ行って来ました。盛岡も釜石もお祭りで、交通が大変でしたが楽しめました。
- 小島会員:先日小金井カントリークラブにてプレー中、熱中症になり同じ組の井上孝一さん、小川さん、島村さんにはご心配をおかけしましたが、元気を取り戻しました。 寄る年波には云々と申しますが、今回ほど年齢をいやと言うほど感じさせられました。しかし気持ちはこれからも青春です。
- 町田会員:クラブより結婚記念日のお花を頂き、ありがとうございました。娘も1歳2か月となり、ヨチヨチ歩きははじめ、ますます目が離せなくなりました。日々の成長が楽しい毎日です。
- 村山会員:8月8日の結婚記念日には素敵なお花をありがとうございました。妻も喜んでおりました。また、昨日8月9日に武蔵小金井駅南口第2地区再開発の起工式が行われました。小金井市のさらなるイメージアップを期待しつつ、ニコニコします。

本日ニコニコボックス合計 8件 22,000円
累計ニコニコボックス合計 40件 155,000円

<卓話> 講師 : 藤井康博会長
テーマ:「イニシエーション再び」

- 私は、岐阜県の濃尾平野の西の端に、養老山脈と揖斐川との間の、養老町船附というところで生まれ育ちました。昔は、河川交通が発達した港町でした。養老というのは、養老の滝の伝説というものが、奈良時代の元号にもなっています。その当時の律令が養老律令ですが、律令はそれ以降出されておらず、明治時代に至っています。
- 高校は、岐阜県立岐阜高校に通いました。片道1時間45分~2時間くらい、東海道線の通勤地獄とバスを乗り継ぎ、通っていました。通勤が大変で、帰宅後机に向かうと、そのまま朝を迎えることが多くありました。そこで、大学受験が近くなったところに親に下宿を頼み、学校近くで下宿をしました。大学受験は、手薄だった世界史(近代史)ができず、最終的には早稲田大学商学部に入りました。これが私の人生の3つのわき道の一つでした。
- 学生時代当時は、学生運動全盛でしたが、私はノンポリでした。合気道に取り組んでいましたが、大変厳しいクラブでした。3年生くらいからランニングで後輩に抜かれるようになり煙草をやめたところ、順位が回復しました。
- 卒業時には就職活動を行い、大手企業に連戦連勝でしたが、田舎もあり長男であることから悩みもありました。三井物産、野村証券、大和証券等を受験も



- しましたが、友人から公認会計士の先輩の夢のある生活の話聞き、野村証券の内定だけを残し、4年の終わりを迎えました。最終的には指導教授にも背中を押され、公認会計士試験を受けることになりました。これが2つ目のわき道でした。
- 卒業後は勉強に専念すべきところでしたが、当時は景気がよかったこともあり、社会人になった仲間から様々な誘惑を受け、なかなか合格しませんでした。そこで、国家公務員試験を受けたところ合格したため、一度、就職をしました。早朝や夜半等、仕事の前後に勉強し規則正しい生活を取り戻したら、一発で合格しました。
- 百折不撓(何度失敗しても初志を忘れずにやる)という母校の校歌に触発されたところがあります。志を持ったならば最後まであきらめずやるのが大切だと思います。
- 公認会計士試験(2次試験)合格後は、3年間の補習がありましたが、その間、公務員の仕事をつづけ、その後、監査法人に入所し実地訓練を行い、3次試験に合格し1981年に公認会計士登録をしました。東京駅八重洲口にある扶桑監査法人に所属し、その後、合併等により大きくなる中、最後は中央監査法人において代表を務め、その後退所しました。これが3つ目のわき道です。
- ある日、私が所属する中央監査法人がみずほ監査法人に移る際、事務所を退所する決意をし、個人事務所を開設することにしました。カネボウ事件もきっかけでした。保証人にはなるなどよく言われます。私はずっとこの会社は大丈夫ですと保証をしてきたわけですが、身内に騙されました。それがきっかけとなり監査法人を去ることにしました。その後、どういう風に個人事務所を経営していくのか、つまり、所属監査法人において関与していた会社、グループ会社については個人として営業するわけに行かないので、全く一から始めなければなりません。監査法人時代の仲間からデューデリジェンスの話をいただいたのが、仕事の始まりでした。
- その後、とある監査法人から顧問の依頼が来たことが大変うれしく思いました。顧問の仕事は、監査法人所属の公認会計士の指導をすることでした。
- 私の人生では、3回わき道にそれました。大学入試、就職試験、監査法人退所、それぞれありましたが、RCでの皆様とのかかわりが、地元で生きているという実感をさせていただいています。わき道にそれたこともすべてよしでした。これが私の人生です。

<閉会点鐘> 藤井会長